

第 三 者 評 価 基 準 (様式 2)
【 障害者・児福祉サービス版 】 R2 年 3 月 31 日改定

A-1 利用者の尊重と権利擁護

| | | 第三者評価結果 |
|--|-------------------------------|----------------|
| A-1-(1) 自己決定の尊重 | | |
| A 1 | ① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。 | a・ b ・c |
| 評価概要 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・利用者から要望のあった YouTube を見られるようにし、Wi-Fi を設置しています。 ・日曜日、月曜日は小グループ活動を行っており、ジュースやお菓子を「絵カード」で選択できるようにしています。 ・コロナ禍以前は「月初めの川の会」という利用者自治会があり、利用者の声を聞く会を設けていました。 ・リクエストメニュー（月 1 回）を設け、毎月、行事の係が一人ひとり聞き取りしながら、要望に応える機会を作っています。 | | |
| A-1-(2) 権利擁護 | | |
| A 2 | ① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。 | a・—・ © |
| 評価概要 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・不適切な支援（グレーゾーン）に対する対策として、①自分で説明できるか②記録に書けるか③予防の措置を講じたかの基準をルール化し、職員全員に周知徹底できるように取り組みつつあります。 ・身体拘束について、3原則を踏まえたうえで、必ず理由を記載し、適切な理由が記載できない場合は、そもそも身体拘束してはいけないというルールを設けています。 ・権利擁護については、従来のやり方にこだわるのではなく、具体的な事例をもとに検討を重ねており、その手法についても柔軟に取り組みつつあります。 ・虐待事案については、今後も継続的に検討を重ね、再発防止への取り組みの継続を期待します。 | | |

A-2 生活支援

| | | 第三者評価結果 |
|----------------------|----------------------------|----------------|
| A-2-(1) 支援の基本 | | |
| A 3 | ① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。 | a・ b ・c |
| 評価概要 | | |

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が自分でできることは自分でやっていますが、調子が悪いときは、職員による支援を行うなど柔軟な対応をしています。 ・利用者が可能な場合は、衣類選びや布団上げなど、自己管理することを支援しています。 ・定期的なモニタリングを行い、支援評価を行っています。 ・日課があるものの、ゆるやかな日課となっており、利用者の心身の状況に応じて柔軟に対応しています。 ・個別支援よりも集団ケアが多くなっている現状があるため、人員配置などを工夫し、きめ細かな個別支援を行えることを期待します。 |
|---|

| | | |
|-----|--|-------|
| A 4 | ② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。 | a・b・c |
|-----|--|-------|

評価概要

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるコミュニケーションが難しい方への支援の工夫として、内部研修で1日話せないという当事者体験を実施したことがあります。 ・言葉によるコミュニケーションが難しい場合は、身振り手振りによるジェスチャーを用いたり、看護師が伝えることで、通院であることを理解するなど、本人が理解できるための工夫を行っています。 ・職員間でコミュニケーションの受け取り方が異なる場合、支援のあり方について、その場で話し合う余裕がないことから、記録を残し、後日、検討しています。今後はその場で話し合える機会を設けることを期待します。 |
|--|

| | | |
|-----|----------------------------------|-------|
| A 5 | ③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。 | a・b・c |
|-----|----------------------------------|-------|

評価概要

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の相談は、日常の支援の中でいつでも聞くようにしています。 ・他害行為を注意した職員に対して、不安定になった利用者がいましたが、職員間で検討した結果、環境の変化に弱い特性をふまえ、週3回、他の施設へ通うことを支援したところ、不適応行動が収まったことがあります。 ・利用者の要望や相談があった場合、担当が利用者の意思を理解し、主任の助言も添えたうえで、代弁しています。その後、サービス管理責任者が面談を行うことで、環境面の改修や支援の見直しなど、ケアプランに活かしています。 |
|---|

| | | |
|-----|--------------------------------|-------|
| A 6 | ④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。 | a・b・c |
|-----|--------------------------------|-------|

評価概要

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・現在はニーズに合わせた日中活動まではできていませんが、職員が充足された際は、屋外活動を増やしたり、もう少し遠くに散歩に行くことを検討しています。 ・家族会と協力し、グラウンドに日よけを作って、日中活動を活性化することを検討しています。 ・現在は集団ケアが中心のため、個別のニーズに対応できる日中活動は提供できていませんが、利用者が選択できるよう、日中活動の多様化を目指しています。 |
|---|

| | | |
|---|-----------------------------------|-------|
| A7 | ⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。 | a・b・c |
| 評価概要 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・職員は入職3ヶ月以内に強度行動障害支援者養成研修の基礎研修を受講しています。職員の専門性を高めるために、自発的な参加意欲と適切なタイミングでの受講が望まれます。 ・中堅職員は、社会福祉協議会主催の中堅職員研修や九州大会、全国大会への参加をして、幅広い見識を得ています。 ・利用者の困難事例については、利用者の困りごとからスタートし、日誌で情報共有しながら、統一した支援をしています。 ・他県のスーパーバイザーの助言を受けながら、困難事例に対する支援について、継続的に学ぶ機会を設けています。 ・行動障害のある利用者支援については、新人職員の意見、ベテランの意見を聞いたうえで、業務基準書をベースにししながら、障害特性と自分たちの力量を踏まえて、話し合いを重ねています。 | | |
| A-2-(2) 日常的な生活支援 | | |
| A8 | ① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。 | a・b・c |
| 評価概要 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・食事についてリクエストメニューを取り入れるなど、利用者の心身の状況に応じて、食事を楽しめる工夫をしています。また、好き嫌いにも対応しており、心身の不調によっては、部屋で食べることもできます。 ・食堂にはBGMも流れており、落ち着いた空間での食事提供に努めています。また、食事の場を小集団化（最大14人、4パターン）することで、騒音が苦手な利用者への配慮をしています。 ・パーティションにより空間を区切ったり、調理室前のガラスをすりガラスに変えるなど、障害特性があっても、落ち着いて食事をしやすい環境を整えています。 ・入浴については、待機時間を作らないため、インカムを活用して、適宜誘導しています。 ・できる限り、入りたい時間で入れるように支援しています。 ・グループホームでは入浴時にBGMもかけるなど、楽しんで入浴できるよう工夫しています。 ・排泄については、ケアプランにもとづき、一定時間に誘導をしていますが、家族からの要望をふまえて、服薬調整をした結果、改善できた事例もあります。 | | |
| A-2-(3) 生活環境 | | |
| A9 | ① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。 | a・b・c |
| 評価概要 | | |

| | | |
|--|---|----------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の障害特性により、安全面が優先されていることから、家具や私物が見られず、快適な生活空間が確保されているとは言い難い状況です。 ・ただし、床材を改修したり、ベッドを導入する、カーテンを検討するなど、今後改善に向けた居室の改装計画があります。また、今後、男性棟に第2リビングを整備し、テレビを設置する計画もあります。 ・空気清浄機（エアクローバー）を増設したり、定期的な清掃業者によるトイレ清掃、シルバー人材センターによる毎日のトイレ清掃など、生活空間を清潔に保つために取り組んでいます。 ・余暇室の掃除には、ルンバを導入し、次亜塩素酸による拭き掃除を兼ねて、夜間、稼働しています。 | | |
| <p>A-2-(4) 機能訓練・生活訓練</p> | | |
| A10 | <p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p> | a・ ③ ・c |
| <p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活訓練・機能訓練については、施設内に理学療法士等の配置はありませんが、希望する利用者については、通所リハビリテーションに通うことを支援しています。 ・てんかん発作がある利用者に対して、通常の浴槽では事故のリスクがあるため、法人内の他施設の特設浴槽による支援も行っています。 ・布団上げや階段の昇降、日中のウォーキングなど、生活リハビリの機会が多く設けられており、高齢化に伴う筋力低下等については、定期的にモニタリングを行いながら、支援の見直しを行っています。 | | |
| <p>A-2-(5) 健康管理・医療的な支援</p> | | |
| A11 | <p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p> | a・ ③ ・c |
| <p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康状態の把握として、毎朝バイタルチェックを行い、入浴の際に身体にケガ等がないかチェックしています。 ・利用者に対して、画一的な健康管理を行っているため、個別に応じた柔軟な対応が期待されます。 ・利用者の体調変化については、早期に気づいて、必要に応じて緊急受診をかける体制があります。急変時はサービス管理責任者や課長に早期に報告し、数時間以内に管理者まで報告されます。 | | |
| A12 | <p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p> | ③ ・b・c |
| <p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、医療的ケア（吸引、経管栄養等）が必要な利用者はいませんが、今後、対応できるために、研修に参加しています。 ・服薬の管理については、指定した薬局が持参した薬を、2名の看護師で確認し、施錠で | | |

| | | |
|---|---|-------|
| <p>きる棚に適切に管理しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、服薬の際も2人チェックや服薬後の空袋チェックなど、4重のリスク管理により誤薬防止に努めています。 ・臨時薬については、支援記録に色分けして記録することで、交代勤務の職員間においても見逃さないよう工夫しています。 ・アレルギー対策については、食札により視覚化し、事故防止に努めています。 | | |
| <p>A-2-(6) 社会参加、学習支援</p> | | |
| A13 | <p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p> | a・b・c |
| <p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前は、吉田夏祭りに参加していましたが、現在はコロナ対策により、社会参加の機会は少なくなっています。 ・利用者の描いた絵や、書き溜めている作品等について、いつかは地域の中で作品展をしたいという構想があります。 ・コロナ禍以前は、鹿児島大学の教授が自閉症の方を対象にした療育活動を日曜学級として、月2回実施され、毎回2人が参加していました。 | | |
| <p>A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p> | | |
| A14 | <p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p> | a・b・c |
| <p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害特性により、地域生活への移行は難しいものの、施設の小規模化を通じて、グループホーム等での生活の可能性について、検討をしています。 ・法人内の他事業所に訪問するなど、当該施設以外の社会資源を知る機会を設けています。 ・週に3回、事業所に行ける利用者もあり、地域生活の可能性も見えてきています。 ・施設での暮らしと地域生活での暮らしが、できる限り近い環境を作り、地域移行できるための工夫や配慮を継続して行うことを期待します。 | | |
| <p>A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p> | | |
| A15 | <p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p> | a・b・c |
| <p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月の家族会では、27家族38名が参加しました。成年後見人も2～3人参加され、毎年1回実施しています。 ・家族会では、「職員ともっと話をしたい」という声が多かったことから、職員と家族による意見交換会を10月に開催する予定です。 ・家族と意見交換する機会としては、不定期の面会の際や、定期的なモニタリングの際に聞き取っています。 ・玄関先に要望箱を設置しており、家族の要望を聞く機会を設けています。 | | |

A-3 発達支援

| | | |
|--------------|----------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| A-3-(1) 発達支援 | | |
| A16 | ① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。 | a・b・c |
| 評価概要 | | |
| (非該当) | | |

A-4 就労支援

| | | |
|--------------|-------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| A-4-(1) 就労支援 | | |
| A17 | ① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。 | a・b・c |
| 評価概要 | | |
| (非該当) | | |
| A18 | ② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。 | a・b・c |
| 評価概要 | | |
| (非該当) | | |
| A19 | ③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。 | a・b・c |
| 評価概要 | | |
| (非該当) | | |